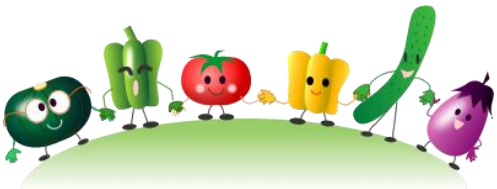

菜園活動記録

川崎市高次脳機能障害地域活動支援センター

2023 年 8 月

前回(2023年1月)の続き、作業内容の紹介です。　　（ふみを）

▼土起こし
土を柔らかくし、通気性と透水性を高めるために欠かせない作業です。微生物による有機物の分解が進み、肥料などの成分も馴染みやすくなります。大胆に鍬を振るう為、力自慢の腕の見せ所です。

▼黒マルチ張り
黒マルチで遮光することで雑草の繁茂を防いだり、土を柔らかく保つ効果があります。また、土が流れて畝が崩れたり、まいた肥料が流れ出ることを防ぎます。

▼苗植え①（準備）
バケツに水を張り、苗をポットに入れたまま、逆さの状態で浸した後、ポットごと水につけ、水泡が出なくなるのを待ちます。これは菜園スタッフさんに教えて頂いた、虫出しの裏技です。

▼苗植え②
マルチカッターという道具で黒マルチに開けた穴に、じょうろで水を満たし、苗をすっぽり植えます。少し土をかけ、手で鎮圧したら水(と愛情)をたっぷりかけます。

▼支柱立て
大きな実をつける野菜やツル性の植物には支柱が欠かせません。成長の仕方によって本数を変えたり、合掌型やハウス型等々、皆さんと様々なアイデアを出しながら設置します。

▼誘引
成長に応じ、麻紐で茎を支柱に寄せる作業。巻き方や結び方にコツが必要で、指先の細かい動きを求められる作業なので、やや難しいのですが、皆さん頑張ってチャレンジしています。